

## 「出雲市環境レポート（令和元年度(2019)のまとめ）」について

## 1 出雲市環境レポートについて

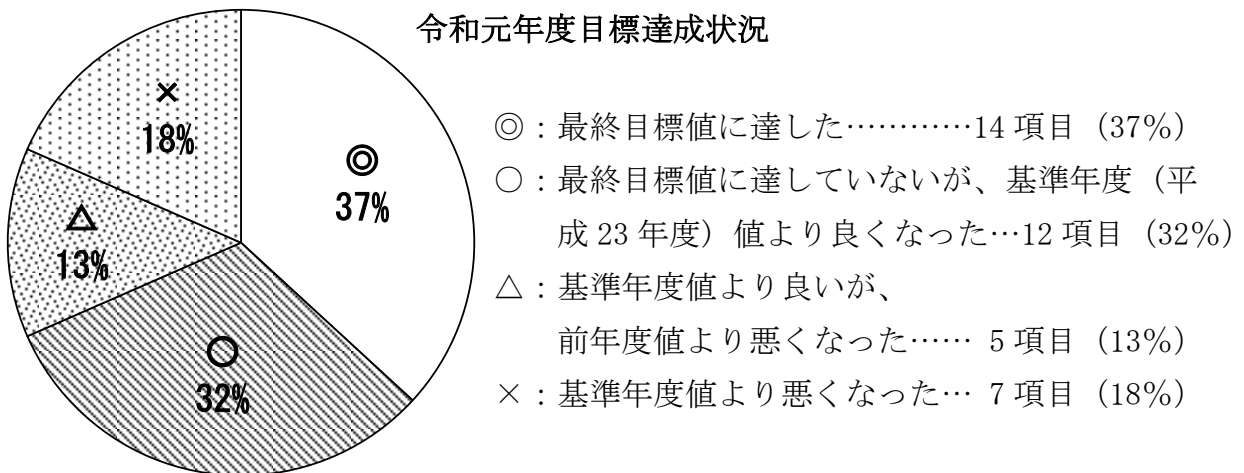
本市では、出雲市環境基本条例に基づき、平成 24 年度に「第 2 次出雲市環境基本計画」を策定し、平成 30 年度に中間見直しを行ったところです。

本計画の目標達成と持続可能な社会構築のため、施策の実施状況や環境の状況等についてまとめた年次報告書「出雲市環境レポート」を作成し、本計画の総合的な推進状況について出雲市環境審議会で点検・評価を行っています。

## 2 令和元年度の目標達成状況

令和元年度の結果を別添「出雲市環境レポート」のとおりまとめました。

本計画の数値目標 38 項目のうち、大気中の浮遊物質や市内河川の水質の数値など 14 項目 (37%) が最終目標値 (令和 4 年度) に達しました。引き続き、最終目標値に達していない項目を中心に、積極的な取組を行う必要があります。



## 3 出雲市の環境の状況 (概要)

大気環境では、令和元年 5 月に島根県から光化学オキシダント注意報が発令され、市の「大気汚染緊急時対応マニュアル」により、防災行政無線等で市民への周知を行いました。光化学オキシダント以外は環境基準を達成しました。

湖沼等の水質については、宍道湖及び神西湖は環境基準を達成していませんが、大きな変動はなく横ばいとなっています。河川の水質は下水道の整備や合併処理浄化槽の普及に伴って改善されてきており、概ね良好な状況で推移しています。

自然環境については、本市では令和元年度に市内主要河川に生息する水生生物調査を斐川、出雲、佐田地域の河川 25 地点で調査を行い、109 種類の水生生物がみつきり、多様な自然が守られていることを確認しました。島根県が行っているガンカモ類調査では、令和元年度は宍道湖で平成 19 年度以来の生息数 67 千羽余りが確認されました。

松江地方気象台が発表した本市の令和元年の年平均気温は15.5℃で、前年より0.5℃上昇しました。長期的にも上昇傾向にあります。

地球温暖化の要因となる「温室効果ガス」の9割を占める二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量を見ると、本市の平成29年度のCO<sub>2</sub>排出量は、第2次出雲市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の基準年度（平成25年度）に比べると、約2.8%（約51千t-CO<sub>2</sub>）増となりました。また、前年度と比較すると約2.1%（約38千t-CO<sub>2</sub>）増となりました。これは、製造業が好調でCO<sub>2</sub>排出量が前年度比約6%増となったことと、夏暑く、冬は寒い気候だったことから家庭部門のエネルギー使用量が増加したためと推察されます。

#### 4 出雲市役所の取組（令和元年度）

市役所では、「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅢ」を策定し、CO<sub>2</sub>削減に向けて、エネルギー消費の低減を進めています。

##### (1) 市の事務事業の取組

令和元年度は、暖冬により暖房に使用する燃料の使用量を抑えられたことや、全庁挙げて省エネルギーの取組を推進したことから目標値を達成しました。しかし、内訳を見ると、LPガスとごみの排出量は目標値を達成することはできませんでした。

##### ・数値目標の達成状況

目標設定項目（単位）	基準年度値 （H29年度）	実績値 （H30年度）	実績値 （R元年度）	最終目標値 （R3年度）
CO <sub>2</sub> 総排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	7,467	7,009	7,064	7,360

##### ・内訳

	目標設定項目（単位）	基準年度値 （H29年度）	実績値 （H30年度）	実績値 （R元年度）	最終目標値 （R3年度）
庁舎関係	電気（kWh）	10,020,497	9,897,781	9,991,582	10,330,000
	灯油（ℓ）	453,983	325,303	327,978	370,000
	A重油（ℓ）	9,000	8,000	2,000	7,000
	LPガス（m <sup>3</sup> ）	22,818	20,605	20,638	20,000
	都市ガス（m <sup>3</sup> ）	97,352	81,438	82,017	90,000
	ごみ排出量（kg）	23,091	22,392	25,970	15,000
公用車	ガソリン（ℓ）	136,475	129,650	129,428	130,000
	軽油（ℓ）	7,212	5,419	5,503	7,000

##### (2) 市職員のマイカー通勤自粛

職員の率先行動として、毎月第3週を「市職員エコ通勤ウィーク」と定め、徒歩、自転車、バイク、公共交通機関利用によるエコ通勤を呼びかけています。

令和元年度は、全職員を対象とした新たな目標を設定し、取組を推進してきましたが、目標を達成することができませんでした。全職員が一丸となり、さらに取組を推進します。